

医薬品の販売制度について

セルフメディケーションに利用できる薬は要指導医薬品、一般用医薬品などに分類されています。医薬品はリスクごとに分類され、分類ごとに陳列方法、対応する専門家、情報提供の方法が異なります。

分類	薬局製造販売 医薬品	要指導 医薬品	一般用医薬品				指定濫用防止 医薬品
			第1類 医薬品	指定第2類 医薬品	第2類 医薬品	第3類 医薬品	
外箱表示		要指導医薬品	第1類医薬品	第②類医薬品 第2類医薬品	第2類医薬品	第3類医薬品	要確認 要確認 要確認
定義	薬局開設者が当該薬局における設備及び器具をもって製造し、当該薬局において直接消費者に販売し、又は授与する医薬品。具体的な品目は、厚生労働省が通知（薬局製剤指針）で定めています	副作用等により日常生活に支障を来す程度の健康被害が生ずるおそれがある医薬品のうち、その使用に関し特に注意が必要で、新しく市販された成分等を含むもの	副作用等により日常生活に支障を来す程度の健康被害が生ずるおそれがある医薬品のうち、その使用に関し特に注意が必要なもの（要指導医薬品を除く）	副作用等により日常生活に支障を来す程度の健康被害が生ずるおそれがある医薬品（要指導医薬品、第一類医薬品を除く） 注）指定第2類医薬品は、第2類医薬品のうち、特別の注意を要する医薬品です 『してはいけないこと』の確認をおこない、使用について薬剤師や登録販売者にご相談ください	第一類医薬品及び第二類医薬品以外の一般用医薬品	濫用した場合に中枢神経系の興奮若しくは抑制又は幻覚を生ずるおそれがあり、その防止を図る必要がある医薬品として厚生大臣が薬事審議会の意見を聴いて指定する医薬品	
陳列方法	調剤室又は販売時に薬剤師による対面での情報提供を適切に行うため、鍵をかけた場所が消費者が直接手の触れない場所に陳列します	販売時に薬剤師による対面での情報提供を適切に行うため、鍵をかけた場所が消費者が直接手の触れない場所に陳列します 	販売時に薬剤師による情報提供を適切に行うため、鍵をかけた場所が消費者が直接手の触れない場所に陳列します	第一類医薬品と同様、販売時に情報提供を行う機会を確保しやすいよう、情報提供を行う場所（7m以内）に陳列します	法令では直接手に取ることができる陳列でもよいとされていますが、当薬局では、情報提供を行いやすい場所に陳列します	販売時に必要な確認と情報提供を適切に行うため、鍵をかけた場所が消費者が直接手の触れない場所に陳列します	
情報提供	書面等を用いて、適正使用のため必要な情報の提供を行います			適正な使用のため必要な情報提供に努めます		要指導医薬品等それぞれ定められている事項のほか、指定濫用防止医薬品の濫用した場合における保健衛生上の危害の発生のおそれがある旨を書面等を用いて適正使用のため必要な情報の提供を行います	
対応する専門家	 薬剤師			 薬剤師または登録販売者			
相談への対応	相談に応じて、適正使用のため必要な情報を提供します						

※ 医薬品の安全使用のために症状等の情報をお伺いさせていただくことがあります。個人情報は個人情報保護法等に基づき適切に管理を行い、医薬品の安全使用以外の目的で利用はしません。

薬による健康被害を受けた方は救済する公的な制度がありますので、PMDA（医薬品医療機器総合機構）に相談ください。	<p style="text-align: center;">医薬品販売の苦情相談窓口</p> <p>保健所 / 保健所所管区域案内 日本薬剤師会 / 日本薬剤師会の組織 薬剤師向け 日本薬剤師会オフィシャル Web サイト</p>
サイト / 医薬品副作用被害救済制度 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構	